

2021年度「多摩地域市民活動公募助成」事業実施報告書

団体名 特定非営利活動法人 R.I.La

代表者・役職名 氏名 理事長 尾崎美佐子

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 助成プロジェクト名

リンクス高麗川と協働で実施する多摩川流域並びに高麗川のマイクロプラスチック汚染調査

2. 団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

2011年9月 調査員伊藤が個人で東大和市内の環境放射線の調査を開始する。
2011年11月 任意団体 R.I.La を設立。
2011年12月 東大和市民が提供する食品等の簡易放射線検査を開始する。
2012年9月 東大和市新堀に研究所を開設し、より専門的な環境放射線の調査を開始する。
2013年8月 特定非営利活動法人 R.I.La 法人登記
2017年 定款を変更。より広い環境問題についての活動を開始する。
現在に至る。

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

本活動は、埼玉県日高市で活動するリンクス高麗川と協働で、多摩川流域並びに一部高麗川において、魚類並びに水生昆虫をマーカーとしてその消化器官に残留するマイクロプラスチックを調査し、多摩川の調査の深耕と、来期のリンクス高麗川チームによるおける高麗川でのマイクロプラスチックの汚染状況を解明の為に、子供たちでも実施可能な市民科学レベルでのマイクロプラスチック汚染調査の手法を確立する。

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

多摩川において、上流域のマイクロプラスチック調査並びに魚類の捕獲方法などのトレーニングをリンクス高麗川のがさガサ隊を中心とする活動部員と行うと共に、埼玉県高麗川において、来期にむけてのマイクロプラスチック汚染調査の予備調査を実施するとともに、NPO 法人 R.I.La 実験室において、マイクロプラスチックの検出方法、画像の保存方法、器具の扱いなどを教授した。

- ・多摩川でのマイクロプラスチック調査 実施回数8回、参加人員延べ36名
- ・高麗川でのマイクロプラスチック予備調査 実施回数4回 参加人数延べ 25 名
- ・NPO 法人 R.I.La 実験室内におけるマイクロプラスチック検出指導 実施回数8回 参加人員延べ36名

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

2022年度におけるリンクス高麗川の埼玉県日高市高麗川におけるマイクロプラスチック調査の為のスキル習得については、ほぼ終了した。今後は、リンクス高麗川を中心とした埼玉県西部での河川のマイクロプラスチック汚染についてのチーム作りが望まれる。NPO 法人 R.I.La では、マイクロプラスチック検出や検体捕獲について、調査団体並びに個人からの要望があり次第、指導を実施していく所存である。

7. 参考資料:プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等の現物またはコピー、活動状況の写真などを、“必ず”、別途、ご提供ください。

- ・活動写真 高麗川での投網教室他

活動写真集

1、埼玉県高麗川における検体捕獲(投網教室)

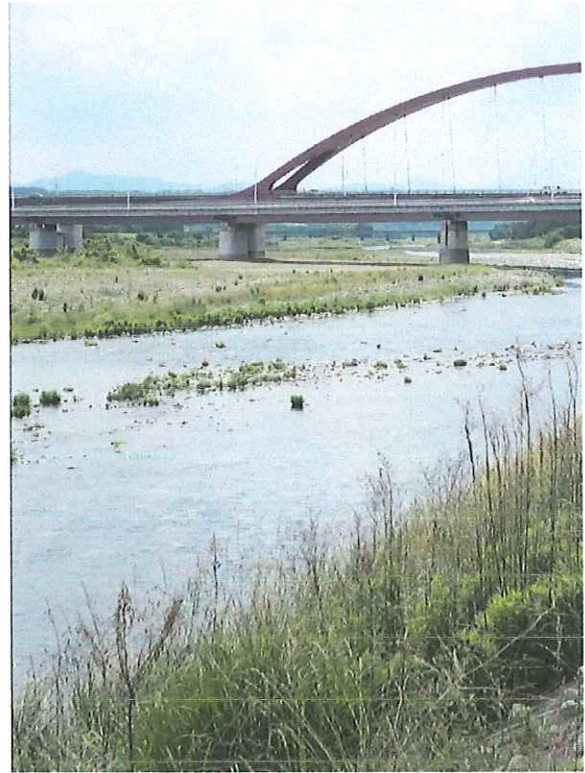




・高麗川予備調査



・多摩川調査(中流域)



・多摩川調査(河口域)



・多摩川調査(源流域)



